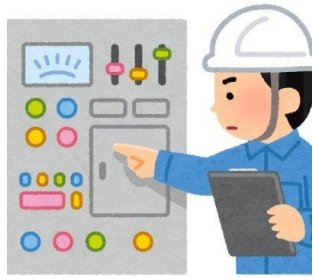





工場での防災訓練

(ポイント)工場で発災した場合、「従業員をいかに安全に避難させるか」について実践いただく場として「大阪880万人訓練」の機会を活用いただければいかがでしょうか！

以下、実際にある事業所で大阪880万人訓練当日に実施した訓練の一例です。

防災訓練計画(概要)

場 所	工 場
訓練内容	<p>1. 機器の緊急停止 … 発災直後 発災時に機器を素早く安全に停止させられるよう、緊急速報メールの受信を合図に、プラント緊急停止の模擬実施を行う。※1</p> 
	<p>2. 身の安全の確保 … 発災直後 機器の緊急停止が完了すれば、揺れがおさまるまで机等の頑丈な物の下に隠れ、身を守る</p> 
	<p>3. いざ避難！ … 大津波警報発表 2回目の緊急速報メール(大津波警報発表)を合図に屋外の安全な場所に避難する。 工場が津波浸水区域内にあれば、浸水区域外まで水平避難を行い、水平避難が難しい場合は近くの津波避難ビルへ避難する。※2</p> 
	<p>4. 安否確認 避難後、会社内で決められている安否確認方法に則り、職員の安否確認を行う。※3</p> 

※1 平素から緊急停止の手順を確認しておく

※2 事前にハザードマップで津波浸水区域に該当しているかどうかを確認する。
近くに津波避難ビルがない場合は堅固な建物の3階以上へ避難する。

※3 令和6年1月にリリースされた大阪防災アプリは安否確認で使用することが可能。
是非ダウンロードしてください。

【登録はこちら】

➡ [大阪府／大阪防災アプリの提供を開始します \(osaka.lg.jp\)](https://osaka.lg.jp)

